

慶應義塾大学大学院
2021年度 商学研究科修士課程入試問題

英 語

以下の設問すべてに答えなさい。ただし、設問1と設問2は別の解答用紙を使うこと。解答は指定のない限りすべて日本語の文章で書くこと。所定の行数を超える答案は採点しない。

設問1 以下の文章を読んで、次の問いにすべて答えなさい。

問1 下線部①の bid price と ask price は通常どちらが大きいか。その理由とともに3行以内で説明しなさい。

問2 下線部②によれば、一般的に brokers はどうやって利益を得るのか2行以内で説明しなさい。

問3 下線部③では、なぜ too easy なのか。その理由を3行以内で説明しなさい。

問4 下線部④の理由を4行以内で説明しなさい。

問5 下線部⑤で、referee とされる理由を3行以内で説明しなさい。

慶應義塾大学大学院
2021年度 商学研究科修士課程入試問題

英語

設問2 以下の英文記事を読んで次の問いに答えなさい。

問1 下線部①を日本語に訳しなさい。ただし、teleworking (テレワーク) と new normal (ニューノーマル) はカタカナでよい。

問2 下線部②に関連して、新型コロナウイルスの流行が fiscal reconstruction にどのような影響を与えると予想できるかを3行以内で説明しなさい。

問3 下線部③に関連して、Individual Number Card が普及していないことが具体的にどのような問題をもたらしたかを3行以内で説明しなさい。

(出典：“Cabinet OKs economic guidelines to push digitalization, telecommuting under Japan's 'new normal’”.
The Japan Times, July 18th, 2020 より抜粋)